

## 平成28年度 日本航空協会表彰と「空の日」・「空の旬間」事業

—本多氏「航空亀齡賞」、伊藤氏、戸田氏「航空功績賞」を受賞—

「空の日」・「空の旬間」には、毎年各種行事が展開されているが、このひとつに（一財）日本航空協会会長から、わが国の航空の発展に尽力した航空功労者に対する表彰が行われる。

当工業会は、日本航空協会の「航空関係者表彰」推薦団体となっており、会員企業から表彰候補者を推薦した結果、「航空亀齡賞」1名、「航空功績賞」2名の受賞通知を受けた。ここに、この素晴らしい荣誉をたたえるとともに、ご功績の一端をご紹介します。

### 1. 日本航空協会 航空関係者表彰

#### (1) 航空亀齡賞

「航空亀齡賞」は永年にわたり航空の発展に尽力され、且つ、数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞である。

##### ①本多 靖正 氏

本多氏は、昭和27年、富士重工業(株)（昭和28年7月設立）の前身企業のひとつである宇都宮車輛(株)に入社し、平成3年6月常務取締役航空宇宙事業本部長で退任される迄の39年間に亘って、航空機工場の生産技術部長、航空機工場長、航空機事業部長、航空宇宙事業本部長として、航空機の製造・修理の事業に携わった。

具体的な事業として、防衛機分野では、陸上自衛隊向け対戦車ヘリコプターAH-1S、航空自衛隊向け無人標的機ターゲットドローンの開発・製造・修理など、民間機分野ではボーイング747SPラダー、ビジネス機FA300、MD11部品などの契約および製造に尽力した。

国際共同開発事業においては、ボーイング社との767（YX）および777事業の契約に尽力した。特に777においては、精力



本多 靖正 氏  
元 富士重工業(株) 常務取締役

的な活動により同社担当部位として中央翼を獲得するとともに、この成果により、同社のみならず日本の航空機工業界の信頼を広く世界に知らしめた。

なお、本多氏は、平成13年度に航空功績賞を受賞している。

#### (2) 航空功績賞

「航空功績賞」は、航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈られる賞である。



伊藤 源嗣 氏  
元 (株)IHI 代表取締役会長



戸田 信雄 氏  
元 三菱航空機(株) 取締役会長

#### ①伊藤 源嗣 氏

伊藤氏は、昭和34年、石川島播磨重工業(株) (現(株)IHI) に入社後、常務取締役航空宇宙事業本部長、代表取締役社長、代表取締役会長を歴任し、現在は相談役の職にある。この間、開発リーダーとして携わったV2500エンジン国際共同開発を始め、CF34、GE90、GENxエンジン事業を日本側の開発リーダーあるいは事業リーダーとして主導し、事業の成功に貢献した。特にV2500エンジン開発事業を、欧米の共同開発パートナーとの連携により成功に導いたことは、その後の航空エンジン国際共同開発プロジェクトにわが国が参画する端緒となり、日本の航空エンジン産業の発展につながる偉業として称賛に値する。

学術活動などとして、ガスタービン実用性能向上技術研究組合理事長、超音速輸送機用推進システム技術研究組合理事長として航空エンジンに関する革新的なシステム技術・要素技術の開発を通して科学技術の発展を促すとともに、日本ガスタービン学会会長として工学と技術の

橋渡しと国際交流を推進した。また、東京大学工学部航空宇宙工学科における非常勤講師として学生を指導することと併せて、各団体・大学における講演を通して、わが国の航空エンジン・航空用ガスタービンを専門とする若手研究者・学生への啓蒙と技術発展に貢献した。

産業界における活動として、経済産業省産業構造審議会の航空機委員および宇宙産業の委員を務めるとともに、日本航空エンジン協会理事長にも就任。平成18～20年には当工業会会長として航空宇宙分野に関する政府への提言と事業の遂行により、わが国の航空宇宙産業の発展に貢献した。

#### ②戸田 信雄 氏

戸田氏は、昭和44年に三菱重工業(株)に入社し、取締役名古屋航空宇宙システム製作所長、取締役常務執行役員航空宇宙事業本部長を歴任した後、平成20年から三菱航空機(株)取締役社長、取締役会長を務めるなど、一貫して航空宇宙関係の業務に従事した。

戸田氏が主導的に携わった事業の一つに国産初の民間ヘリコプターMH2000の開発があり、同氏は三菱重工のヘリコプター技術部長としてプロジェクトを統括した。このヘリコプターは三菱重工が機体とエンジンの両方を開発すると言う世界的にも例のないケースで、開発にあたっては、機体構想の検討、関連基礎技術の検討、開発試験の推進、航空局の型式証明取得など日本の航空機産業にとって経験のない新たな課題への挑戦であった。運航安全性向上、低騒音・低振動などを考慮した設計とともに、エンジンを含む重要装備品、搭載電子機器などの複雑なシステムに対する開発作業は困難が伴うものであったが、プロジェクト責任者として、開発の過程で遭遇する様々な技術課題を解決し、強力な指導力を発揮した。エンジンを含む機体システムを開発するというMH2000プロジェクトの成功は、その後のわが国の航空宇宙産業の発展の基礎となった。

MRJについては、三菱重工航空宇宙事業本部長として開発立上げに尽力し、その後、MRJの開発と販売を掌る三菱航空機を設立して初代社長に就任した。わが国航空機産業の長年の夢であった国産旅客機開発に向けたマーケットリサーチに始まり、機体コンセプトの検討と実現のために必要となる技術の詳細検討と並行して販売活動を進めるなど、MRJのプログラムローンチに至るまでの事業の根幹をなす活動を三菱重工と三菱航空機両方の立場で主導した。

戸田氏が構築した開発体制による不断の努力の結果、MRJは初飛行に成功した。今後、型式証明を取得した後、世界のエアラインで運航される日が訪れる。世界

的に注目されているMRJの開発立上げと事業推進に大いに貢献した。

## 2. 平成28年度「空の日」・「空の旬間」事業概要

### (1) 空の日記念式典

第64回「空の日」航空関係功労者国土交通大臣表彰式

9月20日（火）予定 於：国土交通省 共用大会議室

### (2) 広報活動

ポスター、ホームページ、グッズ製作、「くにもまる」着ぐるみの活用などにより、空の日のPRを行う。

### (3) 中学生派遣事業

成田地区6名の中学生を対象として、7月25日～30日に米国シアトル ボーイング・エバレット工場等の航空関連施設見学、フェニックスJAL運航乗員訓練所見学、現地高校生との交流会等を実施。

### (4) 絵画コンテストの支援

「FAIヤング・アーティスト・コンテスト（主催：FAI（国際航空連盟）」）の国内予選である「青少年航空宇宙絵画国際コンテスト」の費用の一部を支援する。

### (5) 地方イベントへの支援

全国の空港等で開催される空の日イベントに対して事業費の一部を支援する。

### (6) 啓蒙事業の支援

- ①航空分野に関心を持つ若者が増加するよう協賛団体が行う青少年等を対象とした航空教室等の事業費の一部を支援する。

②航空スポーツ分野の安全に関する講演会、講習会等の取り組みに対して事業費支援を行う。

航空に関する仕事の魅力を伝えるために開設した共通ウェブサイト「skyworks」(\*)と空の日ネットの相互リンクを行う。

(7) その他

①関東近郊の中学生10名を対象とし、ANA訓練センター、JALメンテナンスセンター等の羽田空港周辺航空関連施設見学を実施する。

(\*) 当工業会は日本航空機操縦士協会、日本航空技術協会と連携をとり、将来の航空関係人材確保・育成に向けて、若年層への航空職種の紹介に努めております。「skyworks」は当工業会ホームページともリンクしておりアクセスが可能です。

②航空機操縦士養成連絡協議会および航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会が

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕